

# 人生ハンド仏句

第120号

H. 24. 3. 1  
(毎月1日発行)

## 日蓮聖人の生涯

住職 谷川 寛俊

日蓮聖人は貞応元年（一、二二二年）本年より数えて七九〇年前二月十六日、安房国東条郷小湊（千葉県鴨川市）の漁夫の家に生まれました。お生まれに成られた時、海辺には時ならぬ蓮の花が咲き、泉が湧き出したと伝えられています。十二歳の時、天台宗の名刹清澄寺に登り、道善房というお師匠様のもとで、教育を受け、十六歳の時、正式に出家をするための得度の式を受けました。そして名前を蓮長と改められました。

清澄寺で勉強に励む日々を過ごしましたが、仏教を勉強するうちに様々な疑問が若い聖人の心に湧いてきました。その疑問を解決するには人智の及ぶところではないとし、清澄寺の本尊である虚空蔵菩薩（こくうぞうぼさつ）に向かって「日本第一の智者とならしたまえ」と必死の祈りを捧げられたのです。日本第一の知恵を授けられることによって、その疑問の解決を期されたのでした。こうして勉強が進むにつれ、さらに深く勉強したいという思いが強まり、鎌倉に出て学びましたが、日蓮聖人にとつて、満足のゆくものではなかったようです。そして、いったん清澄寺に帰り、改めて比叡山延暦寺への遊学に旅立たれました。

比叡山は、平安時代に中国から天台法華宗を日本にもたらした伝教大師最澄が開いたお寺で、京都の東北にほど近く、静かで修行に適した霊地です。現在日本の各宗派を開かれた開祖の方々は、全てこの比叡山で勉強されたのです。聖人が学んだのは、横川の定光院であつたと伝えら

「人生ハンド仏句」と打ち込んで頂けば、ホームページにつながります。

編集・発行  
玉蓮山 真成 寺  
編集部 谷川久仁子  
TEL・FAX 0765-22-2268

れており、現在それを記念する法華堂と日蓮聖人の銅像が建てられています。

この横川定光院を中心に京都・奈良などの諸大寺で万巻の書を読み、多くの学者と討論するなど、一心不乱に修行した結果、末法の衆生（現在の我々）を救う教えは「法華経」の信仰以外にないという確信を得たのです。お釈迦様のお説きになられた全ての教えの中でも、この法華経こそが唯一の民衆救済の直道（じきどう）で、善の中の大善であると確信された日蓮聖人は、真の法華経流布（るさ）の使命を胸に比叡山を下りられたのでした。

次号に続く。



「ごもつともです」とうなずくところから  
人の和は生まれる

# ◎春季お彼岸法要

・三月二十日（火）

・午前十時半

・午後一時

お給仕(お講当番は、経田・本新

地区の方々です。

どうぞ宜敷くお願いいたします。

# ◎端彼岸

・三月二十三日（金）

・午後一時半

お参り終了後、皆さんでぼた餅を頂きましょうね！



# お知らせ

## ◎水子供養会

・毎月十二日

・午後一時半

どなたでもお気軽にお参り下さい！

## ◎唱題行脚

・毎月二十八日

・午後一時半より三時半頃まで

先月は、雪模様でしたが、行脚中はお陰様で、お日様が顔を覗かせるほどの良いお天気になり、気持ちよく回って来ることが出来ました。

先月の参加者

谷川寛敬・伊藤宗治・高木昶・

土居可久子・高田富美子・谷川久仁子

## ※お休みです

## 「法華経守子屋」

五月から開講予定なので、皆様お楽しみに！

ラニ・フラ・ホア



（一）招待

## 国際交流フェスタ IN UOZU

来る三月三日（土）新川文化ホール（小ホール）にて、十三時～十五時まで、ステージ発表が御座います。ドラムキヤット（世界唯一の女性メンバー）のみのパーカッショングループ）のステージ。又、影絵有り、チアリーディングのパフォーマンスあり、そして、ラニ・フラ・ホアの金山谷、魚津教室のフラの発表。簡単なフラのワークショップも致します。お時間が許す方は、足をお運び下さい。

## 未来へ向けた鎮魂と

## 絆コンサート

三月十一日仙台市シルバーセンター交流ホールにて、復興のシンボル『海の見えるホープステージ』落成記念コンサートが開かれます。そちらで、副住職もパネルディスカッションを致します。

その同じステージで、私達ラニ・フラ・ホアも「アロハの心が届きますように！」と有志十三名が、現地に向かい踊って参ります。一人の力は微々たるものですが、こうしてご縁を頂き、少しずつ絆の輪が広がれば良いと思います。行って参ります。

